

歴史探訪の心得12か条

計画段階	1	まずは情報集め	多くの本を読み、また口コミなども参考に多くの情報を集める。
	2	探訪地を洩れなく、効率よくまわる準備（極力時間のムダを避ける）	①車で探訪する計画にする。公共交通利用の2倍以上行動範囲が広がる（待ち時間なく効率的に回れる）。駐車場も事前に調べておけば迷わないですむ。遠隔地はフェリー利用が疲れず安全。
			②探訪先一覧作成（住所・簡単ガイド付き）。少し多めにリストアップ。全体地図に探訪地などをメモして非効率の探訪順になっていないこと確認。
			③一筆書きの探訪ルート決定。走行予定の国道と距離、およその通過時間を記入しておくで時間不足を防止できる。
			④宿泊先はホテルと車中泊を交互にすると経済的。ホテルは事前予約しておくで安心。現地で探すのは時間の無駄。
		⑤計画が完成しても満足せず見逃しの探訪先やルートの見直しなど行う。出発まで熟成期間を設けて絶えずブラッシュアップさせ計画の完成度を高めること。	
出発前確認	3	雨天は行動を妨げる	たえず天気予報を確認。特に台風・大雨に注意。悪天候になりそうであれば出発日を変更する。
	4	服装は	夏でも長ズボン（肌を守りかつ動き易く）とする。履きなれた運動靴や山登り靴を持参し行動毎に履き替える。ステッキや熊鈴は防御、安全のための必需品。
	5	夏場は特に暑さ対策をしっかりと	首タオル・腕カバー・麦わら帽子・おしぼり・日焼け止めクリーム・虫よけ薬・うちわ・クーラーボックスなど持参。
いざ出発	6	最遠方地から現地探訪を開始	最遠方地からだんだん自宅に近付くように探訪。最終日は相当自宅に近づいておりその分早く家に帰れる。
	7	現地8:00探訪スタートが基本	現地8:00スタートから逆算し自宅を出発する（長距離走行は夜間利用がすいており時間の有効活用・割安にもなる）。15時以降は街中探訪・屋内見学などとし安全を期す。
	8	往路・復路は別ルート	探訪範囲が広がる。同じ道を通るのはもったいない。
	9	ガソリン補給は早めに	走行中、現地ガソリン価格を把握。田舎はガソリンスタンドが少ないし小さな店は比較的高い。高速道路のスタンドも高い。
探訪中	10	現地生情報を得る	①探訪先に観光案内所があればパンフレット入手と説明を受ける（思わぬ情報が得られる場合がある）。
			②探訪地近くの現地人と極力会話し、確かな情報と本に無い情報を得る。 ③宿泊ホテルや夕食先でも自分から話しかけて極力会話し、とっておき情報を得る。
	11	2-②の探訪メモをたえず再確認	探訪洩れを無くす（せっかくの機会を最大限生かす）。
帰宅したら	12	探訪まとめ	①写真の整理（パンフレットも必要部のみ切り抜き見やすく） ②旅行中出会った人との特筆すべき会話内容をメモ ③経費まとめ（高速代、ホテル、ガソリン代、食費含む雑費程度に分けて）